

# 杉の樹大学事業企画運営業務

## 提案書概要版

### 1. 受託業務実施に当たっての基本的な考え方等

当会では設立以来、高齢者がいつまでも元気で活躍し、自分の経験や能力を広く世の中のために生かすというコンセプトで活動しております。60歳以上の区民の能力・経験をより向上させ実際に生かせる場づくりを志して、価値観を共有できる仲間を増やし、ともに今後の活動を考えていける講座を提供し、この講座に参加いただくことにより、杉並区の状況をよりよく知り、共通の学習や体験により仲間づくりを広げることで、杉並区内で新たな活動に踏み出せるきっかけをご提供できると考えます。

### 2. 講座の運営にかかる実施体制について

当会は平成18年敬老館がゆうゆう館と名称変更した時以来、ゆうゆう館の受付管理業務を受託しており、その中で、当会が区のコンセプトに応じて提供する協働事業を数多く企画してまいりました。その経験を活かせるメンバーが多数おりますので、業務責任者、講座管理責任者、講座担当者は、その中でもより経験の多いものを配置予定です。

同時に協働事業企画の中で多くの地域で活躍する講師・ボランティアを依頼・選定してきましたので、その経験を活かしたいと考えます。また、ケア24、社会福祉協議会、町会、高齢者クラブ等との地域で活躍する団体との親交があり、その連携も生かせるものと考えております。

### 3. 講座の運営管理等業務について

講座等を円滑に運営するための具体的な申込受付・管理方法、開催準備（教材等）、会場整備、出欠管理、講座実施中の進行管理、実施後の会場整理等、すべて仕様書に忠実に行います。いずれの場合も担当課である高齢者施策課に即連絡するのは、第一義と考えております。講座中の事故等緊急性のある事案は、特に速やかに担当課に連絡します。

講座受講生、講師ともに、十分満足いただけることを常に念頭に活動いたします。

### 4. 個人情報の管理体制、セキュリティ対策について

個人情報に係る特記仕様書を遵守、杉並区個人情報管理規定（個人情報の保護に関する法律・杉並区個人情報保護に関する条例）に基づき、万が一にも紛失・漏洩事故がないように努めます。個人情報記載のPCは1台限りとし、保管は鍵付き収納庫に保管、パスワードは安全性の高いものを使用、1か月に1回変更して管理、操作にあたるものを3名に限定します。個人情報が記載された印刷物はできる限り避け、必要な場合も終了後即安全に廃棄します。

そのうえで万が一、事故発生の際は速やかに担当課に連絡、指示を仰ぎます。

## 6. 連続講座の提案内容及びプログラム作成に当たって重視する点

3期に分けた期別講座を提案します。杉の樹大学該当区民の意向を重視し、同時に杉並区の基本構想に即した講座を念頭に策定します。同時に多くの課題の中から集客が見込める講座を提案することを念頭に置いて以下の4講座を提案します。

1. 地域の魅力を未来に届ける写真講座～撮影技術を学び、杉並の残したいイベント写真を撮りに行こう  
期待される効果：写真撮影技法をレベルアップさせることにより、個々の満足感達成感ができ、生きがいをさらに高めることができると同時に、同じ趣味の仲間づくりに寄与する。  
地域のイベントを撮影することにより、杉並区の歴史伝統に触れ、より強い地域への愛着を醸成する。
2. 「100歳まで元気！脳トレコース」～アナログゲーム × アートカードゲーム × 杉並アート散歩～  
期待される効果：・ 認知機能の維持・向上、地域資源の再発見と文化的刺激、社会的孤立防止と交流促進、自己表現・創造性の支援による生活の質向上
3. 杉並区の未来を住民と行政が共に描く連続講座  
期待される効果：通常接することが少ない行政の方から直接話を聞くことにより、より杉並区を身近に感じ、重点政策をより深く理解することができる  
区の施策をより深く知り、地域資源や制度の活用方法を自分事と認識できる
4. 自分の地域再発見～「地域」と「私」がつながるプロジェクト（井の頭線沿線編）  
期待される効果：地域資源への理解と関心の向上、多世代間の交流と協働の促進、地域課題への主体的関与意識の醸成、小規模な地域活動の芽の創出（アクションプラン）、修了後の地域活動への継続的参加者輩出、高齢者の終活的視点からの地域参画促進

## 7. 単発（公開）講座の提案内容及びプログラム作成に当たって重視する点

杉の樹大学のコンセプトが伝わる、かつ多くの区民が関心を持つ講師による講演とします。

※多世代・多様性を意識した杉の樹大学の構成に深みを与える講座として、参加者の思考を刺激し、連続講座における対話型講座やワークショップへの参考となる視座があり、メディアや広報面での注目度が高く、他講座企画のアピールに貢献するものと思います。

1. 「人生100年時代の地域づくりと社会参加」  
藤原 佳典先生（東京都健康長寿医療センター 社会科学系副所長）
2. 「ケアの社会化と地域の可能性」  
上野 千鶴子さん（社会学者・評論家）

杉並区 保健福祉部高齢者施策課  
いきがい活動支援係 御中

## 杉の樹大学事業企画運営管理に関する業務

### 企画提案書【概要版】



ヒューマンアカデミー株式会社

# 杉の樹大学事業企画運営業務 企画提案書【概要版】

## ①件名

杉の樹大学事業企画運営業務

## ②受託業務に対する考え方（取組姿勢）・提案内容の全体像

### 業務に対する考え方（取組姿勢）

誰でも気軽に始めやすい講座の提供を通じて、行動の継続や新たな生きがいの発見をサポートいたします。

▶人生100年時代の現代で高齢者になっても活躍し続けるためには、生涯学習や社会参加、健康維持が重要と考えます。

▶気軽に参加でき、学びや自己成長、人とのつながりを感じられる講座が、主体的な自己啓発を誘引します。

**本事業の意義を踏まえた上で、課題やニーズに応える講座テーマを設定し、ニーズが満たされ、課題が解決できる講座を提供いたします**

### 提案内容の全体像

#### ① 複合型の連続講座

- ・年間講座（1コース・12回）・・・特定テーマを深く学ぶ（絵画：絵画を通して四季を描く）
- ・期別講座（年3期 × 各8回）・・・多様なテーマを気軽に体験できる（趣味と仲間づくり、英会話、健康づくり）
- ・単発講座（年2回）・・・「終活・お金」「シニア運動会」など、生活や暮らしに直結したテーマや交流型イベント

#### ② 講座テーマ

- ・趣味と仲間づくり：俳句、書道、手芸、将棋・オセロ
- ・英会話・国際交流：語学学習、外国人留学生との交流会も含む
- ・健康と体力づくり：ヨガ、体操、食・発酵食の学び、ストレッチ
- ・絵画（年間講座）：四季折々の風景を描き、最後に絵画展を開催

### 運営時の工夫

- 継続してご参加いただく工夫：各回ごとに目的やゴールを決め楽しみながらスキルアップ  
交流の時間を多く設けて仲間づくりをサポート
- 安心・安全な運営：経験豊富なスタッフの配置、突発トラブル対応も迅速に対応可能

## ③企画提案書に記載する以下の項目

### ・講座の運営管理等業務について

申込受付方法・・・往復はがきとチラシに二次元コードを記載し、アナログとデジタル媒体のどちらからもお申込みいただける手法を採用します。

管理方法・・・往復はがきでの申し込みは消印有効とし、講座の一か月前に〆切期日を設ける。公平性を保つため、応募者多数の場合は、抽選にて参加者を選定します。

開催準備・・・教材の作成や講座の内容については、講師と打ち合わせを徹底。参加者の方々にとって、有意義な講座となるよう、講座内容は類似事業で参加者の方々から好評であった内容を採用します。

会場整備・・・講座が実施しやすいレイアウトにし、講座実施後には現状復帰を行います。

出欠管理・・・申込者名簿を参照して、出欠の確認を行います。

講座実施中の進行管理・・・講座の進行管理を講師が担当し、運営担当者がフォロー。講座の運営経験が豊富な担当者を配置し、突発的なトラブルへの対処や安全面への配慮を徹底いたします。

実施後の会場整理・・・講座の実施後には、速やかに現状復帰を行います。

### ・講座についての提案内容及びプログラム作成に当たって重視する点

**多様な学習・交流の場を提供することで、杉並区在住の60歳以上の方々が新たな趣味や仲間とのつながりをもち、楽しみながら生きがいのある生活と地域活動への主体的な参加を促進いたします**

## ④提案によって期待される効果

個人に対する効果としては、生きがいや自己啓発、健康に関する講座内容にすることで、趣味や学習、人とのつながりの中から、自身の生きがいに繋がる事柄を見つけられると考えます。

地域活動への効果としては、社会参加に通ずる内容にすることで、交流の機会創出による孤立防止や地域とのつながり・かかわりを育むことに繋がると考えます。

**住民一人ひとりが、自分の関心やスキルを活かして、地域社会に積極的に関わることを促すための取り組みを行えるよう支援します**



## 杉の樹大学「すぎなみ いのちの森プロジェクト」概要版企画提案書

### ① 件名

杉の樹大学事業企画運営業務「すぎなみ いのちの森プロジェクト」

---

### ② 受託業務に対する考え方（取組姿勢）・提案内容の全体像

本事業は、杉並区が掲げる「高齢者の生涯学習・生きがいづくり」の主旨に沿い、趣味や仲間づくりをきっかけに、学んだことを地域で活かせる人材を育てます。

生涯学習は、知識や趣味を得ることだけではなく、人と人のつながりを通じて、自分はまだ役に立てるという実感を得ることが大切です。その感覚が、安心できる居場所づくりや、定年後の喪失感・鬱の予防につながります。

「いのちの森プロジェクト」は以下の三本柱で構成されます。

#### 1. 基幹講座「いのちの森ガイド養成講座」

定員 40 名、通年 24 回（3 期制）。対話・交流・相談、自主運営スキルを学び、地域で「自分の学びをすぐに活かせる」人材を育成。

#### 2. 相談窓口の設置・運営（次年度実践）

杉並区立高齢者活動支援センター 2 階にて週 1 回（9 時～15 時）、よろず相談窓口を開設。初年度の学びを活かし、次年度から受講生自身が運営に参画。「次に何を学びたいか」「どう運営したいか」を考える実践の場を設けます。

#### 3. 単発講座

コーチング、仏教写経、タップダンス、薬膳セルフケアなど、月 1 回開催。趣味・健康をきっかけに参加しやすい入り口を提供。

---

### ③ 講座運営に関する提案内容

#### 運営管理

- ・ 区システムと連携した申込受付



- 教材・会場準備、出欠・安全管理
- 講座後アンケートによる改善サイクル

#### 連続講座

- 年間3期制・通年24回、定員40名
- 「こどもといのち」「世代をつなぐ」「すぎなみの大樹になる」をテーマに、仲間づくりと地域実践を推進
- 学んだことを次年度の相談窓口運営につなげる流れを明確に設計

#### 単発講座

- 月1回開催
- 趣味や健康テーマを入り口に、地域交流・生涯学習の裾野を広げる

---

#### ④ 提案によって期待される効果

- 学びの即実践化：学んだことを次年度の相談窓口運営で活かし、役に立つ実感を得る
- 居場所づくり：相談窓口が「安心の拠点」となり、孤立や孤独死を予防
- 主体的住民の創出：「受け身」ではなく、自分で動き、考える住民を育てる
- 世代間・多文化交流：子ども・外国人住民との交流を通じ、地域に新しい風を吹き込む
- モデル性：杉並発の「学びと実践がつながる仕組み」として全国・海外へ発信可能